

## 第8編 文化の振興

### 第1章 文化財保護

#### 第1節 文化財の指定と保存修復事業

文化財の保護を図るため、文化財保護法及び群馬県文化財保護条例に基づき、重要なものを文化財指定するとともに、保存修復事業等に対して事業費の補助を行った。

##### 1 指定文化財

次のとおり、国指定重要文化財1件、国指定天然記念物1件、県指定重要文化財5件、県指定重要無形民俗文化財1件が新規に指定され、県指定天然記念物1件、県指定重要文化財の附（棟札）が指定解除された。これにより、国指定文化財合計141件（うち、国宝1件）、県指定文化財合計424件となった。

##### (1) 国指定

種別	名称	所在の場所	所有者	指定日
重要文化財	旧中島家住宅 主屋、土蔵、氏神社、 正門及び門衛所（附 番頭部屋1棟、附属屋 1棟、外塀1棟、中門 及び塀1棟）、宅地	太田市押切町1417	太田市	7月25日
史跡	女堀 （追加指定）	前橋市二之宮町、前橋市東 大室町、伊勢崎市下触町	前橋市・伊勢 崎市	10月3日
史跡	水上石器時代住居跡 （追加指定）	利根郡みなかみ町大穴森前、 大久保、坂上	個人・みなか み町（道路敷）	2月9日
天然記念物	六合チャツボミゴケ生 物群集の鉄鉾生成地	吾妻郡中之条町入山西山13- 3	中之条町	2月9日

##### (2) 県指定

種別	名称	所在の場所	所有者又は 保護団体	指定日
重要文化財	榛名神社神宝殿 （附 竣工碑1基）	高崎市榛名山町849	榛名神社	9月13日
重要文化財	上白井西伊熊遺跡出土 品一括	渋川市北橘町下箱田784-2 （群馬県埋蔵文化財調査セ ンター）	群馬県	9月13日
重要文化財	神保家住宅（主屋・書 院）	吾妻郡中之条町岩本299	個人	3月10日
重要文化財	剣崎長瀬西遺跡出土品	高崎市八幡町800-114 （高崎市観音塚考古資料館）	高崎市	3月10日

重要文化財	西大山遺跡出土馬具	甘楽郡甘楽町白倉1326 (甘楽古代館)	甘楽町	3月10日
重要無形 民俗文化財	羽場日枝神社の獅子舞	利根郡みなかみ町羽場588 (羽場日枝神社)	羽場日枝神社 獅子舞保存会	3月10日

(3) 県指定解除

種 別	名 称	所 在 の 場 所	所 有 者	解 除 日
天然記念物	中之条町六合のチャツボミゴケ	吾妻郡中之条町入山13-3	中之条町	2月9日
重要文化財	臨江閣本館及び茶室 (附 棟札)	前橋市大手町三丁目15	前橋市	3月10日 ※「附 棟 札 2 枚」指 定解除

## 2 登録有形文化財

9件の建造物が登録有形文化財に新規に登録され、1件の登録有形文化財が登録抹消された。これにより、登録有形文化財（建造物）は332件、登録有形民俗文化財は2件となった。

(1) 登録

種 別	名 称	所 在 の 場 所	所 有 者	登 録 日
登録有形 文化財	旧大竹酒造煉瓦蔵	前橋市三河町一丁目28-23	前橋市	8月1日
	横手館本館東棟	渋川市伊香保町伊香保香湯1 2-1	(株) 横手館	8月1日
	横手館本館西棟	渋川市伊香保町伊香保香湯1 2-1	(株) 横手館	8月1日
	今井酒造店店舗兼主屋	太田市鳥山中町746-2	個人	8月1日
	今井酒造店本蔵	太田市鳥山中町746-2	個人	8月1日
	今井酒造店新蔵	太田市鳥山中町746-2	個人	8月1日
	今井酒造店釜場及び瓶詰場	太田市鳥山中町746-2	個人	8月1日
	今井酒造店文庫蔵	太田市鳥山中町746-2	個人	8月1日
	今井酒造店煙突	太田市鳥山中町746-2	個人	8月1日

## (2) 登録抹消

種別	名称	所在の場所	所有者	抹消日
登録有形文化財	鐸木家住宅（本坊）宿坊	高崎市榛名山町183	個人	9月14日

## 3 選定文化財

平成28年度は選定文化財の選定はなかった。これにより、国選定重要伝統的建造物群保存地区は2件、国選定重要文化的景観は1件、県選定保存技術は1件である。

## 4 選択文化財

平成28年度は選択文化財の選択はなかった。これにより、国記録選択は11件、県記録選択は1件である。

## 5 文化財保存事業費等補助

文化財の保存と活用を図るため、次の保存事業等に対して事業費の補助を行った。

## (1) 県指定文化財等

種別	名称	事業内容	市町村名	事業者名
重要文化財	旧富岡製糸場西置繭所	解体修理	富岡市	富岡市
重要伝統的建造物群保存地区	桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区	保存修理・買上げ	桐生市	桐生市
	中之条町六合赤岩重要伝統的建造物群保存地区	修理	中之条町	中之条町
史跡	旧富岡製糸場	建物修理	富岡市	富岡市
	田島弥平旧宅	保存修理	伊勢崎市	伊勢崎市
	高山社跡	建物修理	藤岡市	藤岡市
	荒船・東谷風穴蚕種貯蔵所跡	石垣修理	下仁田町	下仁田町
	箕輪城跡	復元整備	高崎市	高崎市
	上野国佐位郡正倉跡	保存活用計画策定	伊勢崎市	伊勢崎市
	西鹿田中島遺跡	修景	みどり市	みどり市
西鹿田中島遺跡	ソフト作成	みどり市	みどり市	
天然記念物	岩神の飛石	保存活用計画策定	前橋市	前橋市

## (2) 国指定文化財等

種別	名称	事業内容	市町村名	事業者名
重要伝統的建造物群保存地区	桐生市桐生新町重要伝統的建造物群保存地区	保存修理・買上げ	桐生市	桐生市
	中之条町六合赤岩重要伝統的建造物群保存地区	修理	中之条町	中之条町
史跡	箕輪城跡	復元整備	高崎市	高崎市
	上野国佐位郡正倉跡	保存活用計画策定	伊勢崎市	伊勢崎市
	西鹿田中島遺跡	修景	みどり市	みどり市
	西鹿田中島遺跡	ソフト作成	みどり市	みどり市
天然記念物	岩神の飛石	保存活用計画策定	前橋市	前橋市

## 第2節 文化財管理活用事業

文化財の保存活用を図るため、基礎調査や管理の徹底を進めるとともに、文化財の普及や活用事業を実施した。

### 1 文化財調査

#### (1) 特別天然記念物カモシカ食害対策特別調査及び通常調査

カモシカの生息環境・生息密度・分布範囲・食害状況等の調査について、越後・日光・三国山系カモシカ保護地域(六合村・中之条町・みなかみ町・沼田市・片品村)通常調査(調査員12名を委嘱)及び関東山地カモシカ保護地域(上野村)通常調査(調査員2人を委嘱)を実施した。

### 2 文化財パトロール

#### (1) 文化財パトロール

文化財保護法第191条の規定に基づき、文化財保護指導委員31人を委嘱、県文化財の管理状況についてパトロールを実施した。

#### (2) 高山蝶パトロール

ア 渋川市(ヒメギフチョウ)／保護パトロール員 21人、4月20日～6月22日実施

イ 嬭恋村(ミヤマシロチョウ・ミヤマシロチョウ・ヘビヒカゲ)／保護パトロール員 21人、6月7日～10月20日実施

### 3 文化財普及

#### (1) 最新情報展

県内の発掘調査の成果の公表と埋蔵文化財保護思想の普及のため、(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団に委託して、県埋蔵文化財調査センター発掘情報館において、最新の整理成果から出土遺物・解説パネル等の展示を行った。

### 4 文化財保護行政指導者養成

#### (1) 埋蔵文化財専門講座

埋蔵文化財に対する知識と技術を研修し、市町村の埋蔵文化財行政と調査体制の充実及び学校教育と生涯学習の質的向上を目的とし、市町村の職員並びに公立・私立学校の教員を対象に(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団に業務委託して講座を開設した。なお、教員を対象とする講座の一環として、ミニシンポジウム「未来へつなぐ東国文化ー文化財の地域教材化研究ー」を開催した。

ア 期日

8月2日～8月4日、9月6日～9月8日、9月13日～9月15日

イ 場所

県埋蔵文化財調査センター (ミニシンポジウムのみ渋川市北橋行政センター)

ウ 受講者

33名

### 5 銃砲刀剣類の登録

銃砲刀剣類所持等取締法第14条の規定に基づき、美術品等として価値のある古式銃砲や刀剣類登録について、審査会を6回開催した。平成28年度の登録は、古式銃砲14件、刀剣類199件、合計213件。平成28年度末現在の登録総数は、古式銃砲1,229件、刀剣類53,796件、合計55,025件。

### 6 史跡観音山古墳保護管理

史跡観音山古墳の保存と見学者の利便を図るため史跡レンジャーを配置し、『見学用リーフレット』の配布・解説を行った。また、年度末には史跡上野国分寺跡とともに学習活動での利用を促すためのチラシを作成し、県内すべての小中学校、特別支援学校等に配布した。

平成28年度の古墳の見学者数は8,521人、うち石室見学者数は4,306人であった(前年度見学者数8,006人、石室見学者数3,692人)。

## 7 史跡上野国分寺跡保護管理

史跡上野国分寺跡の保存を図り、歴史的環境を整え活用を図るため、昭和55年度から史跡整備事業が実施され、平成24年度からは第2次整備事業が開始された。さらに、平成24年度からガイダンス施設の解説員を1名増員し、年末年始期間（12月29日～1月3日）以外を無休とした。

なお、県内国公立小中学校、中等学校、特別支援学校全校に利用促進パンフレットを配布し、校外授業、総合学習への利用を促し、施設内の展示物及び史跡を分かりやすく説明した。

平成28年度のガイダンス施設の入館者数は19,708人であった（前年度12,925人）。

## 第3節 埋蔵文化財保護管理事業

### 1 幹線交通埋蔵文化財調査

#### (1) 一般国道17号〔上武道路〕（国土交通省から受託）

一般国道17号の建設に伴う埋蔵文化財の整理事業を、（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。

##### ア 整理事業

田口下田尻遺跡他、計3遺跡の整理作業を実施し、3冊の調査報告書を刊行した。

#### (2) 八ツ場ダム（国土交通省から受託）

八ツ場ダムの建設に伴う埋蔵文化財発掘調査を、（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。

##### ア 発掘調査事業

石川原遺跡他、計15遺跡の発掘調査を実施した。調査面積 計179,051㎡

##### イ 整理事業

東宮遺跡他、計10遺跡の整理作業を実施し、4冊の調査報告書を刊行した。

### 2 公共開発関連埋蔵文化財緊急調査

公共開発に伴う事前調査で、事業関連の発掘調査と事業に係る出土遺物の整理を実施し、開発事業との調整を図った。

#### (1) （公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団実施調査

##### ア 発掘調査事業

国道353号金井バイパス（上信自動車道）・金井下新田遺跡他、計19遺跡の発掘調査を実施した。

調査面積 計106,630㎡

##### イ 整理事業

金井東裏遺跡他、計13遺跡の整理作業を実施し、3冊の調査報告書を刊行した。

#### (2) 群馬県教育委員会文化財保護課実施調査（試掘・確認調査）

県公共事業、国土交通省事業（八ツ場ダム関係）において45件の試掘調査を実施した。

### 3 埋蔵文化財発掘調査等に対する補助金交付

市町村が実施した国庫補助事業による14件の市町内遺跡等発掘調査等事業に対し、16,335千円の県費による補助金を交付した。

### 4 埋蔵文化財緊急発掘調査の動向

開発に伴う届出等のうち、法第92・93・94条による調査件数は、いずれも増加している。民間開発に伴う法第93条では個人住宅や集合住宅建設、及びガス等のインフラ整備に伴う届出の件数が増加している。

(1) 平成28年度原因者別発掘(通知・届)

通知・届出	発掘調査		土木工事		計
	92条	99条	93条	94条	
道路	29	102	4	95	230
鉄道	0	0	0	0	0
空港	0	0	0	0	0
河川	1	4	0	3	8
ダム建設	22	3	0	0	25
学校建設	1	19	3	11	34
集合住宅	2	78	144	0	224
個人住宅	0	62	1507	0	1569
住宅兼用	0	1	8	0	9
店舗	4	17	44	0	65
土地区画整理	9	19	4	13	45

ガス等	0	33	342	31	406
工場	0	11	16	1	28
農業基盤	0	8	1	4	13
農業関係	0	4	1	1	6
ゴルフ場	0	0	0	0	0
土砂採取	0	2	3	0	5
その他開発	27	193	509	46	775
観光開発	0	0	0	1	1
自然消滅	0	0	0	0	0
遺跡整備	0	5	0	0	5
公園造成	0	7	0	7	14
学術調査	2	4	0	0	6
保存目的	0	3	0	0	3
遺跡地図	0	0	0	0	0

**5 県統合型GIS(「マッピングぐんま」)**

県統合型GIS(「マッピングぐんま」)において、県民に最新の埋蔵文化財及び指定文化財に関する情報を提供することにより、文化財の活用を推進した。また、開発事業者等に最新の埋蔵文化財に関する情報を提供することにより、文化財保護法に基づく諸届出が適正に提出され、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整が図られた。

平成28年度データ更新件数

遺跡位置情報及び属性情報 938件

指定文化財位置情報及び属性情報 24件

**6 古墳総合調査事業**

前年度までに実施した調査について、市町村教育委員会の協力を得ながら、調査成果を集約し、報告書の執筆、編集を行った。12月には調査指導委員会を開催し、報告書の内容や、今後指定や整備すべき古墳について指導を受けた。また、古墳の利活用を検討する古墳情報発信検討委員会を8月と12月に開催。12月の委員会は、県及び市町村の関係部局の職員に公開し、多方面の情報発信方法についての提言を受けた。

**7 古墳情報発信事業**

県内の古墳に関する情報を広く発信するため、古墳に関連した展示会を開催したほか、「古代東国文化サミット」において、古代体験広場を運営した。また、3月には、古墳総合調査の成果をわかりやすく解説する古墳情報発信イベント「古代東国の古墳文化ー古墳総合調査の成果からー」を開催した。

**8 金井東裏遺跡出土甲着裝人骨等調査事業**

金井東裏遺跡から出土した甲着裝人骨等、特殊な取扱いが必要な遺物について、調査検討委員会を開催して指導を受けるとともに、(公財)群馬県埋蔵文化財調査事業団に委託して、前年度までに実施した各種分析の取りまとめと、追加分析の実施、1・2号甲と冑の保存処理、報告書の執筆と編集業務等を実施し、報告書を刊行した。

また、3Dスキャンデータを元に、2号甲と、付随して発見された鹿角製の小札製品の出土状態を再現した詳細なレプリカを作成。保存処理の終了した2号甲、冑ともに、県庁で開催した展示会で公開した。